

暴力行為 強く非難

志位委員長、小池書記局長 和歌山 首相演説中に爆発物

岸田文雄首相が遊説先として訪れていた和歌山市の雑賀崎漁港で15日、大きな爆発音がありました。男が筒状の爆発物を投げ込み、白煙も上がりましたが、首相は避難して無事でした。

日本共産党

この事件について日本共産党の志位和夫委員長は第一報の直後、「暴力行為を強く非難する。首相が無事で良かった。けが人がないことを願う」とツイッターで表明。小池晃書記局長は演説で「民主主義を破壊する行為で、断じて許されません。深い憤りを覚えます。選

挙においては、言論の自由が最も保障されなければいけません。暴力で自由な言論を妨害するような動きに対しては、日本共産党はキッパリ反対していきます」と述べました。

維新

「身を切る改革」本当？

政党助成金 使い残し10億円返さず

「身を切る改革に共感」と報じられる日本維新の会。しかし、国民の税金である政党助成金（共産党は受け取り拒否）の問題では何の「改革」もしていません。維新は2021年の「報告書」によると、19億2245万1000円の政党助成金を受け取りました。政党助成法では、使わなかった

助成金は国庫に返納することが原則ですが、「基金」をつくれれば例外として返納せず、翌年に繰り越すことができます。自民党は214億円余、公明党は16億円余、維新も10億4000万円を翌22年に「基金」としてため込みました。使い残しを返さないと——「身を切る改革」は本当？

しんぶん 赤旗

日刊 (毎日配達されます) 月3,497円

日曜版 (毎週配達されます) 月930円

お申し込みはお近くの党事務所か党員までお願いします

折り目

破綻明白 計画ストップせよ

大阪カジノ 政府認定

時代遅れ

「大阪にカジノはいらない」と訴える辰巳孝太郎元参院議員ら=14日、大阪市・京橋駅前



大阪府・市が申請していたカジノを中核とする統合型リゾート(IR)が14日、政府から正式に認定されました。大阪湾の人工島・夢洲にカジノ、国際会議場、展示場、ホテルなどを併設する巨大観光施設を建設。29年開業予定です。カジノ事情、コロナ禍で激変 世界のカジノ事情はコロナ禍を経て激変。施設に客を詰め込み、ひたすらギャンブル漬けにするビジネスは成り立たず、オンライン・カジノなどに主軸を移しています。計画は時代遅れです。 カジノのターゲットは日本人。IRの客の7割=1400万人=を

占めるとしています。入場者の2割程度がギャンブル依存症になる(大阪市議会参考人質疑)とされ、毎年数十万人もの依存症を生み出すこととなります。公費790億円注入 夢洲をめぐるっては、地盤沈下や土壌汚染、液状化などの問題があり、対策費として大阪市が790億円もの公費を注ぎ込みます。 カジノは人の不幸の上に成り立つビジネス。「日本のどこにもカジノはいらない」の声を広げ、計画をストップさせましょう。

日本共産党

近畿民報

2023年4月 No.3 (第546号) 発行/日本共産党国会議員団 近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号 Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115 Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。